

6-① あそびのススメ

■対象：乳幼児～小学校高学年の親

■時間：70分程度

■手法：ラベルワーク

<p>学習のねらい</p> <p>子どもの頃に遊んだ経験について話し合うことによって、遊びを通じた体験が子どもの成長に豊かさをもたらすことに気づく。</p>	<p>子どもの頃に遊んだ経験について話し合うことによって、遊びを通じた体験が子どもの成長に豊かさをもたらすことに気づく。</p>
<p>準備するもの</p> <p>動物カード 付箋（グループ数×50枚程度） 模造紙（各グループに1枚） 筆記用具 マジック ワークシート【P.89】 アドバイスタイトム用配付資料 参考資料「子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になります！」【P.119】</p>	<p>動物カード 付箋（グループ数×50枚程度） 模造紙（各グループに1枚） 筆記用具 マジック ワークシート【P.89】 アドバイスタイトム用配付資料 参考資料「子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になります！」【P.119】</p>

時間	学習の流れ	留意点	準備
	<p>【はじめに】</p> <p>今日は、子どもの頃の遊びをお互いに紹介しながら、遊びが子どもの育ちにどのような意味があるかを考えてみましょう。その前に、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。</p>		
10分	<p>【アイスブレイク】</p> <p>①動物あて(P.99) ②自己紹介</p>	<p>・②は、日頃子どもが熱中している遊びを紹介しながら行う。</p>	動物カード
45分	<p>《講座の前にルールとマナーを確認しましょう》</p> <p>【ワークショップ】</p> <p>①ワーク1に自分が子どもの頃にした心に残っている遊びを3つ選び、紹介する ②遊びを通して、学んだことや身についた力を考えて付箋に記入する ③グループで付箋を分類し、島を作る ④グループで話し合ったことを代表が発表する ⑤まとめ</p>	<p>・①は、3つの順は特に意識しなくてもよいことを伝える。 ・②は、それぞれ経験が異なるので、いろいろな視点から自由に記入するように伝える。 ・③は、遊びが情緒や身体の健全な発達に欠かせないものであることに気づけるよう声かけをする。 ・④は、話し合いの様子について、簡単に発表してもらう。</p>	ワークシート(P.89) 付箋 模造紙 マジック
13分	<p>【ふり返りと分かち合い】</p> <p>①学習をふり返って、感じたことや気づいたことワーク2に書く ②グループで発表し合う</p>	<p>・全体に広げることができれば取り上げてもよい。</p>	ワークシート(P.89)
2分	<p>【アドバイスタイトム】</p> <p>いかがでしたか？ 最近はゲームなどの室内遊びが主流になり、様々な体験をすることが、以前に比べれば少なくなりました。また、交友関係が狭くなり、人とかかわれないという子どもも少なくありません。遊びを通しての友だちや地域の方とのコミュニケーションは、子どもにとって大切な栄養と言ってよいでしょう。 文部科学省発行の家庭教育手帳には、次のような記述があります。 ※資料 P.114「家事を手伝わせたら、子どもがしっかりしてきた」 P.115「子どもは遊びが仕事です」 P.116「人生で大切なことは、自然の中で学んだ」から状況に応じて選んで読む。 また、国立青少年教育振興機構が行った調査では、次のような結果が出ています。 ※資料 P.119「子どもの頃の体験は豊かな人生の基盤になります」を必要に応じて読む。</p>		配付資料
	<p>《講座の最後にルールとマナーの確認をしましょう》</p>		

6-① あそびのススメ

①ワーク1に自分が子どもの頃にしたい心に残っている遊びを3つ選び、紹介する(8分)



それでは、これからみなさん子どもの頃の遊びについて考えてみましょう。
 ※ワークシートを配付(ワーク1)
 子どもの頃に経験した遊びで、心に残っているものを3つ選んで、○で囲みましょう。
 そして、グループの中で、選んだ遊びについて簡単に紹介し合ってみましょう。

②遊びを通して、学んだことや身についた力を考えて付箋に記入する(10分)

その遊びが大切な思い出として今でも心に残っている理由は、みなさんの経験から感じたこと、学んだことがたくさんあったからだと思います。では、その遊びを通して、どんなことを学び、自分にどんな力が身についたと思いますか。過去をふり返って、付箋に書いてください。
 ただし、1枚の付箋には1つの事柄を書いてください。例えば…
 時間は8分です。



※例えば…

まずは挑戦してみることに

○ 1枚に1つのこと

協調性や思いやりの心

× 1枚に複数のこと

③グループで付箋を分類し、島を作る(15分)



次に、グループの活動に入ります。
 まず、グループ内で発表の順番を決めてください。
 最初の人から1枚の付箋を模造紙の上に出し、書いた意味を説明します。その時、メンバーの中に似た内容の付箋があれば、説明をしながら近くに置きます。
 似た内容の付箋がなくなったら、次の人が別の1枚を出し、同じように説明をします。これを繰り返して、模造紙の上いくつもの島を作りましょう。
 (島ができたら)
 模造紙の上いくつもの島ができていると思います。
 書いたカードがそこでいいか、確認しましょう。
 確認ができたら、それぞれの島の特徴を示す見出しを付けましょう。
 (見出しが付いたら)
 グループの代表者を決め、代表者が発表しやすいように、グループの考えをまとめましょう。

④グループで話し合ったことを代表が発表する(10分)

それでは、代表の方はグループの話し合いの様子を発表してください。
 (すべての発表が終了したら、簡単にコメントをする)



⑤まとめ(2分)

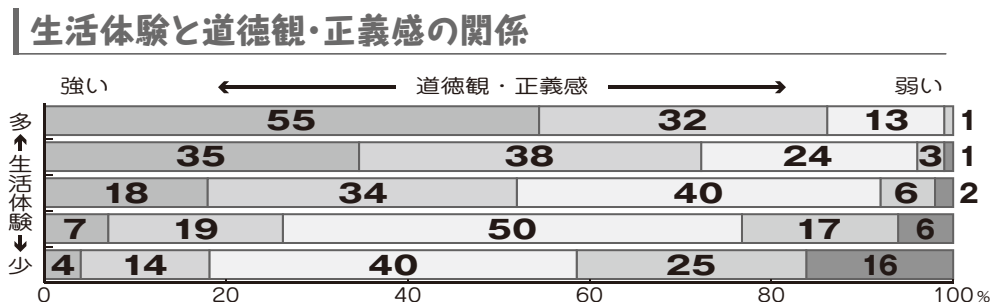
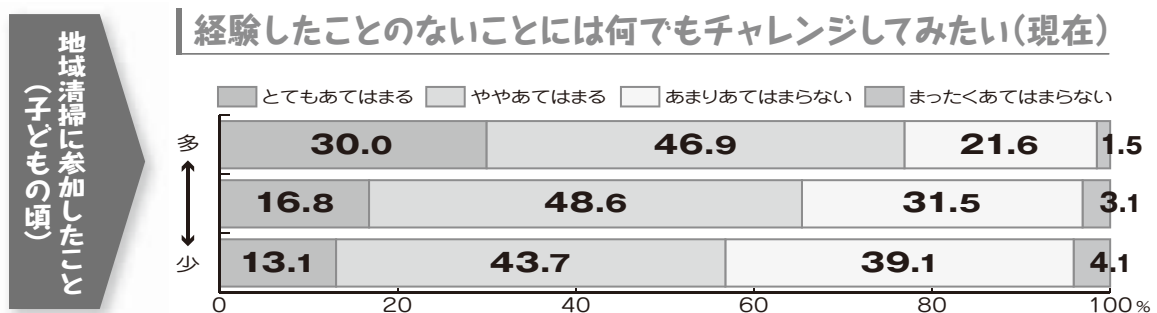
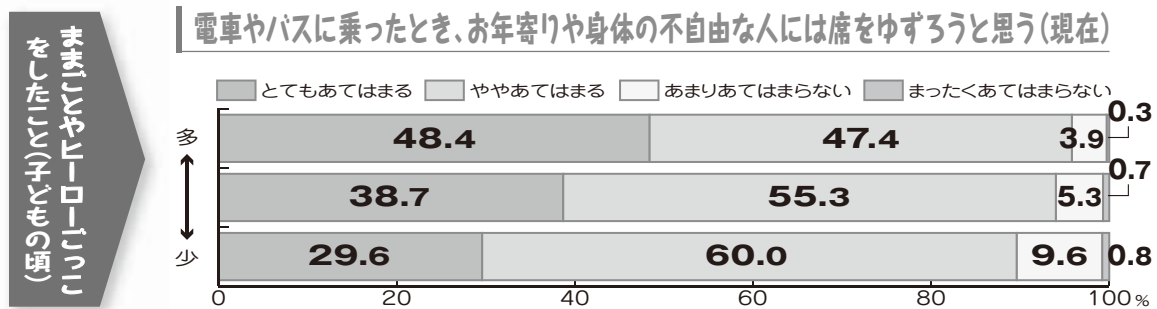
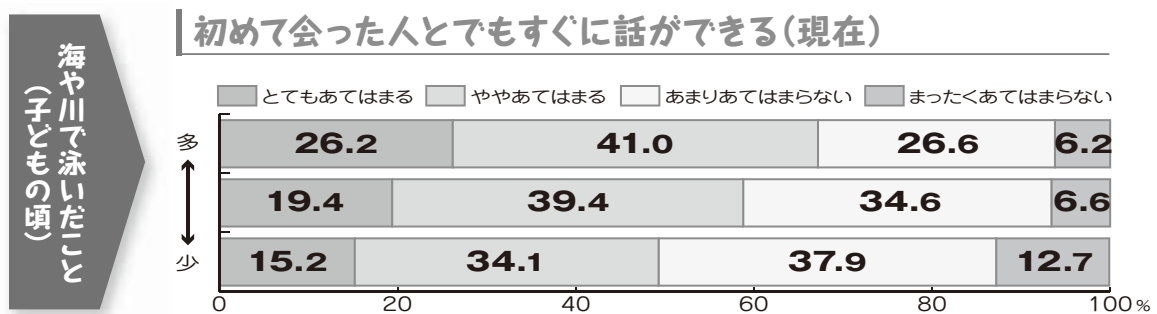


いろんな意見が出ましたね。遊びが子どもの育ちにとって、とても大切なことが分かりました。それでは、今日の学習を通して、感じたことや気づいたことをワーク2に記入してみましょう。

子どもの頃の体験は 豊かな人生の基盤になります!

子どもの頃の様々な体験が豊富な人ほど、大人になってからの生きがい、モラルや人間関係能力などの資質や能力が高い傾向にあります。

普段からの、友だちとの遊び、お手伝いや地域活動などは、子どもたちの健やかな成長には大切なものなのです。



出典：国立青少年教育振興機構「子どもの体験活動の実態に関する調査研究」
「青少年の体験活動等と自立に関する実態調査(平成21年度調査)」